

令和7年度（2025年度） 事業計画書

自：令和7年4月 1日

至：令和8年3月31日

所在地 秋田市土崎港中央三丁目4番40号
法人名 社会福祉法人はまなす会
代表者 理事長 泉 正 樹

実施事業

【土崎エリア】

- (1) ケアハウス土崎（定員50人）
（軽費老人ホーム：平成16年1月5日事業開始）
- (2) ヘルパーステーション遥か
（平成16年12月16日事業開始、平成29年4月1日から訪問介護・介護予防
訪問介護及び第1号訪問事業訪問介護事業）
- (3) 介護付有料老人ホーム 遥か（定員40人）
（介護付有料老人ホーム及び特定施設入居者生活介護事業）
「平成22年8月1日事業開始」

【山王エリア】

- (4) 特別養護老人ホームぬくもり山王（定員56人）
（介護老人福祉施設：平成26年4月15日事業開始）
- (5) ショートステイぬくもり山王（定員2人）
（短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護事業）
「平成26年4月15日名称・定員変更」
- (6) デイサービスぬくもり山王（定員18人）
（平成19年5月1日事業開始、平成29年4月1日から地域密着型通所介護
・介護予防通所介護及び第1号通所事業通所介護に変更）
- (7) 特別養護老人ホーム ラソ茨島（定員29人）
（地域密着型介護老人福祉施設：平成30年5月15日事業開始）
- (8) 収益事業：不動産賃貸業「平成24年9月1日事業開始」

目 次

1. 法人の沿革	1
2. 社会福祉法人はまなす会事業計画	6
3. 社会福祉法人はまなす会組織図	11
(1)法人事務局職員指揮命令系統図	12
(2)法人事務局職務分掌	13
(3)経理関係辞令一覧	16
(4)法人経営会議実施要項	17
4. 令和7年度法人事務局年間事業計画表	19
5. <u>土崎エリア事業計画</u>	21
(1)ケアハウス土崎事業計画書	
①職員指揮命令系統図（組織図）	
②職員職務分掌表	
③ケアハウス土崎事業計画	
④職員会議・委員会編成表	
⑤職員年間研修計画表	
⑥令和7年度年間行事計画総括表	
(2)ヘルパーステーション遥か事業計画書	
①職員指揮命令系統図（組織図）	
②職員職務分掌表	
③ヘルパーステーション遥か事業計画	
④職員会議・委員会編成表	
⑤職員年間研修計画表	
⑥令和7年度年間行事計画総括表	
(3)介護付有料老人ホーム遥か事業計画書	
①職員指揮命令系統図（組織図）	
②職員職務分掌表	
③介護付有料老人ホーム遥か事業計画	
④職員会議・委員会編成表	
⑤職員年間研修計画表	
⑥令和7年度年間行事計画総括表	
6. <u>山王エリア事業計画</u>	62
①職員指揮命令系統図（組織図）	
②山王エリア職員職務分掌表	
③特別養護老人ホームぬくもり山王および ショートステイぬくもり山王事業計画書	
④デイサービスぬくもり山王事業計画書	
⑤職員会議・委員会編成表	
⑥職員年間研修計画表	
⑦令和7年度年間行事計画総括表	
7. <u>特別養護老人ホームラソ茨島事業計画</u>	90
①職員指揮命令系統図（組織図）	
②職員職務分掌表	
③特別養護老人ホームラソ茨島事業計画書	
④職員会議・委員会編成表	
⑤職員年間研修計画表	
⑥令和7年度年間行事計画総括表	

1. 法 人 の 沿 革

令和6年4月～令和7年3月

法 人 名	社会福祉法人はまなす会	理事長 泉 正 樹
所 在 地	〒011-0946 秋田市土崎港中央三丁目4番40号	TEL 018 (845) 4575

年 月 日	内 容
平成14年12月27日	■ 社会福祉法人はまなす会法人認可
平成16年1月5日	■ ケアハウス土崎事業開始（定員50名）：第一種社会福祉事業 軽費老人ホーム 所在地＝秋田市土崎港中央三丁目4番40号 （延床面積：3,077㎡）
平成16年12月16日	■ まほろばヘルパーステーション事業開始：第二種社会福祉事業 指定訪問介護 所在地＝秋田市土崎港中央三丁目4番40号
平成18年10月16日	■ ケアサポートぬくもり山王事業開始：公益事業 指定居宅介護支援 所在地＝秋田市川尻町字大川反233番地の59
平成18年11月1日	■ 高齢者介護施設ぬくもり山王事業開始（定員60名）：第二種社会福祉事業 指定短期入所生活介護 所在地＝秋田市川尻町字大川反233番地の59 （延床面積：2,478㎡）
平成19年4月1日	□ まほろばヘルパーステーション事業所移転：秋田市川尻町字大川反233番地の59
平成19年5月1日	■ デイサービスぬくもり山王事業開始（定員20名）：第二種社会福祉事業 指定小規模型通所介護 所在地＝秋田市川尻町字大川反233番地の59
平成21年11月1日	□ まほろばヘルパーステーション事業所移転：秋田市土崎港中央三丁目4番40号
平成22年7月1日	■ 小規模多機能ホーム日吉坂事業開始（定員25名）：第二種社会福祉事業 小規模多機能型居宅介護 □ 認知症デイサービス日吉坂事業開始（定員10名）：第二種社会福祉事業 指定認知症対応型通所介護 □ ナイトヘルパーステーション日吉坂事業開始：第二種社会福祉事業 認知症対応型通所介護 所在地＝秋田市新屋比内町7番4号
平成22年8月1日	■ 介護付有料老人ホーム遥か事業開始（定員40名）：公益事業 特定施設入居者生活介護 所在地＝秋田市土崎港中央三丁目4番42号
平成23年7月1日	□ ナイトヘルパーステーション日吉坂の名称を「夜間対応型訪問介護遥か」に変更
平成23年7月1日	□ まほろばヘルパーステーションの名称を「ヘルパーステーション遥か」に変更
平成24年6月30日	□ 認知症デイサービス日吉坂事業廃止
平成24年9月1日	■ 収益事業開始（不動産賃貸業） 旧認知症対応型通所介護事業の設備（42㎡）を社会福祉法人秋田県厚生協会「児童デイサービスたけのこ」事業のために賃貸契約を締結
平成24年9月1日	□ デイサービスぬくもり山王定員を22名に変更
平成25年9月11日	□ 老人短期入所施設の特別養護老人ホーム転換整備計画の協議結果、特別養護老人ホームぬくもり山王が選定される
平成26年3月27日	□ 特別養護老人ホームぬくもり山王改築工事完了（非常階段2か所、医務室・事務室を拡張）
平成26年4月15日	■ 特別養護老人ホームぬくもり山王（定員50名）事業開始
平成26年4月15日	■ 併設型ショートステイぬくもり山王（定員8名）事業開始

年月日	内 容							
平成26年4月15日	☐ デイサービスぬくもり山王増築工事完了 定員25名に変更							
平成27年11月1日	☐ <u>小規模多機能ホーム日吉坂定員を29名に変更</u>							
平成27年12月25日	☐ 特別養護老人ホームぬくもり山王 4人室＝ 8室（32名）のプライバシー確保を目的とし、平成27年度秋田県特別養護老人ホーム等空間整備事業補助金を活用して、秋田杉を使用した三連引き戸設置工事を完了							
平成28年5月31日	☐ <u>夜間対応型訪問介護遥か事業廃止</u>							
平成28年10月17日	☐ 「秋田市元気な子どものまちづくり」事業所の認定企業に決定							
	<table><tr><td rowspan="3">認定事業</td><td>山王エリア</td><td>特別養護老人ホームぬくもり山王・ショートステイぬくもり山王・デイサービスぬくもり山王・ケアサポートぬくもり山王</td></tr><tr><td>土崎エリア</td><td>ケアハウス土崎・介護付有料老人ホーム遥か・ヘルパーステーション遥か</td></tr><tr><td>新屋エリア</td><td>小規模多機能ホーム日吉坂</td></tr></table>	認定事業	山王エリア	特別養護老人ホームぬくもり山王・ショートステイぬくもり山王・デイサービスぬくもり山王・ケアサポートぬくもり山王	土崎エリア	ケアハウス土崎・介護付有料老人ホーム遥か・ヘルパーステーション遥か	新屋エリア	小規模多機能ホーム日吉坂
認定事業	山王エリア		特別養護老人ホームぬくもり山王・ショートステイぬくもり山王・デイサービスぬくもり山王・ケアサポートぬくもり山王					
	土崎エリア		ケアハウス土崎・介護付有料老人ホーム遥か・ヘルパーステーション遥か					
	新屋エリア	小規模多機能ホーム日吉坂						
平成28年12月27日	☐ 平成29年度地域密着型特別養護老人ホーム整備計画審査の結果、「特別養護老人ホームラソ茨島」が選定される							
平成29年2月15日	☐ 特別養護老人ホームラソ茨島建設用地（秋田市茨島六丁目308番1： 1,217㎡）売買契約書締結							
平成29年3月1日	☐ 特別養護老人ホームラソ茨島新築工事の設計及び監理業務について業務委託契約を締結。							
平成29年3月7日	☐ 特別養護老人ホームぬくもり山王において地震による津波発生を想定した避難訓練を秋田中央警察署合同で実施。							
平成29年4月1日	☐ 改正社会福祉法により定款変更（理事定数7名・評議員定数16名⇒8名・監事定数2名）							
平成29年4月1日	☐ 定款第6条の規定により評議員選任・解任委員会設置（委員4名）							
平成29年9月21日	☐ 特別養護老人ホームラソ茨島新築工事 着工（完成予定日：平成30年3月20日）							
平成30年2月15日	☐ 特別養護老人ホームラソ茨島建設用地（秋田市茨島六丁目315番1： 147㎡）売買契約書締結							
平成30年4月15日	☐ 特別養護老人ホームラソ茨島工事完了（延床面積：1,533㎡）							
平成30年5月15日	■ 特別養護老人ホームラソ茨島事業開始（定員＝29名：入居申込者数＝79人）							
平成30年9月6日	☐ 秋田市によるケアハウス土崎定期指導監査施行							
平成30年9月7日	☐ 秋田市による社会福祉法人・特別養護老人ホームぬくもり山王の定期指導監査施行							
平成30年10月5日	☐ 平成30年度秋田県介護ロボット導入推進支援事業費補助金交付決定							
平成30年10月15日	☐ 介護付有料老人ホーム遥か「屋上防水修繕工事」完了							
令和1年7月30日	☐ 特別養護老人ホームラソ茨島事業開始後、秋田市監査指導室の初めての指導監査実施 結果＝指摘事項なし							
令和2年11月20日	☐ はまなす会役員 6 名の「秋田県社会福祉協議会会長表彰受賞祝賀会」開催							
令和2年3月1日	☐ 秋田県版健康経営優良法人認定される 認定番号＝2020.3－28							
令和2年7月17日	☐ 秋田市によるケアハウス土崎定期指導監査施行							
令和2年7月29日	☐ 秋田市による特別養護老人ホームぬくもり山王の定期指導監査施行							
令和2年10月22日	☐ 令和2年度全国老施協表彰規程に基づく「感謝」受賞祝賀会開催（受賞者 5 名）							

年月日	内 容
令和2年12月28日	□ 新型コロナウイルス感染症対策として、簡易陰圧装置を特別養護老人ホームぬくもり山王・ケアハウス土崎へ設置（各5台）
令和3年1月17日	□ <u>小規模多機能ホーム日吉坂事業廃止</u>
令和3年2月17日	□ 新型コロナウイルス感染症対策として、簡易陰圧装置を介護付有料老人ホーム遙かへ設置（5台）
令和3年7月13日	□ 新型コロナウイルス感染症対策として、簡易陰圧装置を特別養護老人ホームラソ茨島へ設置（5台）
令和3年7月20日	□ 秋田市による社会福祉法人定期指導監査施行
令和3年8月19日	□ 秋田市による特別養護老人ホームラソ茨島定期指導監査施行
令和3年10月15日	□ <u>ケアサポートぬくもり山王事業休止</u>
令和4年2月28日	□ ショートステイぬくもり山王 2人室=2室 4人室=1室（計8名）のプライバシー確保を目的とし、令和3年度秋田県特別養護老人ホーム等空間整備事業補助金を活用して、秋田杉を使用した三連・四連引き戸設置工事を完了
令和4年6月3日	□ 秋田県より「秋田移住支援金支援事業対象法人」として認定される
令和4年7月29日	□ 秋田市によるケアハウス土崎定期指導監査施行
令和4年9月8日	□ 秋田市より「まちへの誇りと愛着醸成パートナー企業」として認定される
令和4年12月13日	□ 泉理事長が「令和4年度社会福祉功労者に対する厚生労働大臣表彰」並びに「令和4年度全国社会福祉協議会会長表彰」を受賞
令和5年1月24日	□ 秋田市による介護付有料老人ホーム遙か定期運営指導施行
令和5年3月31日	□ <u>ケアサポートぬくもり山王事業廃止</u>
令和5年6月1日	□ 令和5年度全国老施協表彰規程に基づく15年「感謝」受賞（受賞者15名）
令和5年8月9日	□ 2023年度福祉機器の整備補助事業（公益財団法人JKA）を活用した特別養護老人ホームぬくもり山王の老朽化した特殊浴槽一式の整備完了
令和5年8月23日	□ 秋田市による特別養護老人ホームぬくもり山王の定期指導監査施行
令和5年12月14日	□ 秋田市立山王中学校へ「令和5年度中学生の福祉の仕事セミナー」講師として特別養護老人ホームぬくもり山王職員2名を派遣（受講者：3年生165名、教職員10名）
令和5年12月26日	□ 令和5年度秋田県介護ロボット導入支援事業費補助金を活用し、特別養護老人ホームラソ茨島に見守り介護ロボット「aams」を全居室へ導入完了（29台）
令和5年12月29日	□ 特別養護老人ホームぬくもり山王「屋上空調室外機更新工事」完了
令和6年7月3日	□ 秋田市に対し令和6年度短期入所生活介護事業所（併設型）の介護老人福祉施設転換整備計画の協議書提出
令和6年9月5日	□ 秋田市による社会福祉法人並びにケアハウス土崎定期指導監査施行
令和6年9月5日	□ 短期入所生活介護事業所（併設型）の介護老人福祉施設転換整備計画の協議結果、ショートステイぬくもり山王が選定される。
令和6年10月29日	□ はまなす会役員等6名が「令和6年度社会福祉功労者に対する秋田県知事表彰」を受賞
令和6年12月1日	□ <u>特別養護老人ホームぬくもり山王定員を56名に変更</u>
令和6年12月1日	□ <u>ショートステイぬくもり山王定員を2名に変更</u>
令和7年1月10日	□ 秋田市による特別養護老人ホームラソ茨島定期指導監査・運営指導施行
令和7年2月6日	□ 秋田県老施協施設長研修会にて「県補助金を活用したICTの実践（特養ラソ茨島）」についての実践報告を発表

2. 令和7年度 社会福祉法人はまなす会 事業計画

1. 基本理念

社会福祉法人はまなす会は次の三つを基本理念とします。

《1》信 頼

私たちは、常に「心の和」をもって利用者に寄り添いながら、家族の方や地域の方から信頼される福祉・介護サービスを提供するよう努めます。

《2》創 造

私たちは、老いても心から人生をエンジョイできる福祉・介護サービスを提供するため、さまざまな事業を展開し、社会が求める新たなサービスを創造します。

《3》貢 献

私たちは、社会福祉法人として培ってきた高い専門知識と支援技術を最大限に活かし、地域の多様な生活課題や福祉ニーズに率先して取り組み、課題解決に努めます。また、すべての方が住み慣れた地域で自分らしく暮らせる福祉社会の実現に貢献します。

2. 法人の目的

この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の8種類の社会福祉事業を行います。

(1) 第一種社会福祉事業

- | | |
|-----------------|------------------------|
| ①特別養護老人ホーム | 特別養護老人ホームぬくもり山王（定員56人） |
| ②地域密着型特別養護老人ホーム | 特別養護老人ホーム ラソ茨島（定員29人） |
| ③軽費老人ホーム | ケアハウス土崎（定員50人） |

(2) 第二種社会福祉事業

- | | |
|-------------|--------------------------|
| ①老人居宅介護等事業 | ヘルパーステーション遙か |
| ②老人短期入所事業 | ショートステイぬくもり山王（定員2人） |
| ③老人デイサービス事業 | 地域密着型デイサービスぬくもり山王（定員18人） |

(3) 公益事業

- | | |
|----------------|---------------------|
| ①特定施設入居者生活介護事業 | 介護付有料老人ホーム遙か（定員40人） |
|----------------|---------------------|

(4) 収益事業

不動産賃貸事業（ラソ茨島駐車場賃貸契約）

3. 経営方針

(1) 「社会福祉法人はまなす会」で求めるこれからの職員像

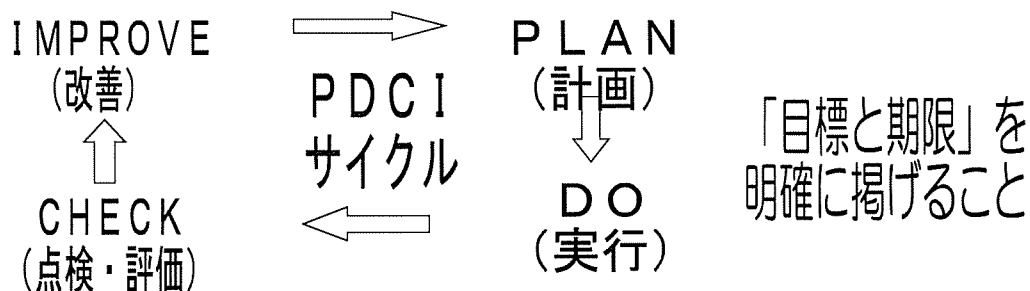
- ①相手の感情・考え方・価値観を読み取ろうとする姿勢があること。
- ②相手のニーズを発見し、応え、満足するサービスを提供しようとする姿勢があること。
（利用者の方が、ほんの少しでも、昨日より今日の方が「元気・活気・やる気」を引き出せるように、との思いがあること。）
- ③自ら行動を起こし、物事を良い方向へ導こうとする姿勢があること。
- ④今持つ力を最大限発揮し、たとえ困難な仕事であっても意欲的に挑戦を継続しようとする姿勢があること。

する姿勢があること。

- ⑤ 中堅職員は「積極性、自発性、改革意識、そして寛容な心」が必要であることを自覚し、福祉介護サービスの質を確保し、さらに高い質の向上を図ること。

(2) 運営・会計経理体制の充実

- ① 社会福祉事業や公益的な事業等への自主的な取組を責任もって実施できる管理経営体制を構築します。
- ② 各事業所の円滑な運営を図り、施設長・管理者による業務管理及び主任・副主任による業務遂行体制（P D C I サイクルの実践）を強化します。



- ③ 事業継続に必要な財源確保のため、適切な財務計画に基づき最小の経費で最大の効果を得られるような経営を目標に経営基盤の強化に努めます。

(3) 感染症（新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ・ノロウイルス等）対策及び食中毒の予防及び蔓延の防止

職員は高い衛生意識を持って、マニュアルの通りに手抜きすることなく、日常的に継続して、感染予防対策を推進、徹底していきます。

(4) 人材の確保・育成と定着（ワーク・ライフ・バランス）

秋田県・秋田市では、人口構造の変化によって明らかに「人」は不足します。介護需要が増加していく中で、介護労働力の確保が喫緊の課題となっています。この大きな需給ギャップを埋めるために、介護・看護職員のさらなる処遇改善と介護職の魅力を向上させるための創意工夫を図ります。

(5) 公益性の推進

社会福祉事業の主たる担い手という高い公益性を有する主体とし、また、地域の多様な福祉需要に対応していくために、低所得者や制度の狭間にいる方々に対しての支援、公益的な事業の実施など、他の事業主体には果たせない役割を担います。

(6) 事業の透明性の確保

- ① 法人内で実施されているサービス内容や経営内容などの情報について透明性の確保に努めます。
- ② 社会的ルールの遵守（コンプライアンス）、説明責任（アカウンタビリティ）の徹底、組織統治（ガバナンス）の確立により、良質かつ安心・安全なサービスが提供できる組織づくりを行い、社会福祉の担い手として高い信頼性を得るよう努めます。

(7) 地域社会における施設の役割と連携

地域社会において、社会生活上の困難を抱える者は増加傾向にあり、こうした者に対する日常生活の見守りや権利擁護など、制度の狭間のニーズ、市場原理では必ずしも満たされないニーズについても、組織的かつ継続的に取り組んでいきます。

社会福祉法人の使命を強く意識し、各施設が地域住民のセーフティネットに参画し、施設機能の活用及びマンパワーを積極的に提供することにより地域社会における施設の存在意義を明確にしながら地域社会に根差した事業運営を目指します。

4. 令和7年度の重点目標

はじめに・・・

昨年は、年初の能登半島地震を始め、県内でも記録的な大雨による災害の発生、秋田市街地に予期しない「クマ」の出没。なかなか終息しないコロナ感染症（7月に有料遥か、12月に特養山王、R7.1月ラソ茨島でクラスター発生）への対応。

そして、施設運営を取り巻く環境は、電気・ガス代の高止まり、物価高騰による委託業者の相次ぐ値上げ、経年劣化による設備交換費用の上昇など、法人経営を圧迫する要因が多く、苦勞の多い年でありました。

今年も、これら課題に対して迅速かつ的確に事業を展開していきます。

また、福祉人材の確保については、継続的な賃金改善や福利厚生の充実、特養ホームラソ茨島で効果のあったICT等のテクノロジーの活用、「ノーリフティングケア（抱えない、持ち上げない介助）」の導入」など職場環境改善といった、あらゆる手段を講じていきます。

職場は「楽しく」なければなりません。そのためには職員相互がお互いの違いを認め合い、寛容な心で、支え合うことが重要です。双方の立場、組織や特性の違いを理解し、信頼関係を築けるような「働きやすい職場づくり」に取り組んでいきます。

これらの実現のために「次の8項目を重点事項」として取り組んでいきます。

- (1) 令和6年度介護報酬改定に伴い、昨年と同様に新加算「介護職員等処遇改善加算」を取得し介護職員の給与を改善します。また、加算・減算の算定や運営基準の体制整備に努めます。（キャリアアップができる給与制度、人事考課結果と業績による貢献型賞与制度の導入。運用に当たっては、高度な知識、技術を発揮する施設長等、部長・部署の統括管理を行う主任・副主任の位置づけ処遇を見直します。）
- (2) 介護人材の確保のために、昨年と同様に、外国人介護労働者受入れ準備も含め、
 - ①介護職員の採用促進のため、秋田市内の高校生を対象として学校訪問（学生・就職担当教員）を実施し、はまなす会福祉介護事業のイメージ改善、魅力を周知します。
 - ②職場の定着促進のため、「処遇改善（退職金制度の充実）」、「日本赤十字東北看護大学介護福祉短期大学部と連携し、修学資金貸付制度を活用した介護福祉士の養成」に取り組みます。
 - ③今年度から創設される「介護人材確保・職場環境改善等事業」を活用し、介護現場における生産性向上（＝介護業務の負担軽減）や職場環境改善等を図ることにより、介護職員の確保・職場定着を推進します。
 - ④この事業を実施・継続するためには、
中堅職員層の育成は急務ですので、中堅職員としての自覚を醸成し、より高い目標をもって仕事や組織活動に参画できるよう「必要な知識・情報、技術・技能を修得して、専門性の拡大と深化、実践力を高める」実践プログラムを具体的に進めていきます。

- (3) 昨年、県の補助金を活用しラソ茨島に導入した「見守り機器」の成果を踏まえ、特別養護老人ホームぬくもり山王・介護付有料老人ホーム遥かについても導入を検討し、介護職員業務の軽減と介護サービスの質の更なる向上を図ります。
- (4) コンピュータは単なる事務処理上の道具でありましたが、利用者の介護情報登録義務化（LIFE）・介護報酬請求事務・給与計算・福祉会計・人事労務管理・官公庁等届出の電子申請化・インターネットバンキング・職員間の情報共有、法人内のネットワークなど行政の後押しもあり、情報システムは法人施設運営の中核を成す基盤として存在するに至ってる。平成26年7月に制定された「コンピュータ情報システムの運用管理に関する規程」に基づき、情報のシステム（多種多様な業務支援ソフト）の適正な運用及び情報保護に関して①ネットワーク管理（情報の漏えい）②システム管理（ハードやソフトウェア）③業務運用管理（バージョンアップ・ユーザーの登録等）⑤ICTに精通した人材の育成 ⑥費用対効果の観点からシステム全般を見直していきます。

昨年度から継続して実行する目標は次のとおりです。

- (5) ケアハウス土崎（築20年）第2期設備工事の早期完了と第3期設備工事計画（最終）の検討。特養ホームぬくもり山王（築18年）第2期・第3期設備計画の大規模修繕の対策が必要です。昨年度に引き続き資金調達も含めて大きなテーマとして検討していきます。
- (6) 経年劣化による設備の補修等の修繕費、パソコン（30/40台）の更新・変動金利対策、増大する人件費コスト、更に光熱費・給食業務委託費・紙オムツ代の高騰は、喫緊の経営課題であることから、従来の固定費（職員駐車場料金・台数）などの経費が「適切かどうか」を経営診断の実施を試みながら見直しを強化していきます。
- (7) 法人事務局では、特に入所部門で介護職員の不足が深刻化しているのに鑑み、人材確保を最優先の課題とし取り組んでいきます。また、法人運営、理事会・評議員会の開催、人事労務管理など業務を次世代に引継いでいくことを意識しながら、実務手順書やマニュアルの作成、必要な研修等を実施していきます。
- 「予算管理ができる」「適正な財務報告を担保するための適切な経理事務ができる」「人事・労務管理ができる」「給与計算やそのチェックができる」「介護保険制度を理解し、介護報酬請求業務や制度上の諸届出の対応ができる」など、各エリアで核となれる事務職員を育成することを目指し、ともに学んでいきます。
- (8) 第9期秋田市介護保険事業計画（施設整備計画）に基づく、新規施設整備事業（ラソ茨島駐車場の有効活用）は建築費等の異常な高騰もあり見送りしましたが、引続き社会情勢を見ながら慎重に検討していきます。

5. サービス提供体制強化のための方策

- (1) 各事業所の経営体制を上記(1)(2)の目標を確実に達成するために「執行機関である理事会及び法人経営会議」の機能を有効に活用し、各事業所の経営状況を把握、分析、業務執行の円滑化、情報の共有化を徹底します。

(2) BCP（業務継続計画）の実践と危機管理対応策の早期浸透化

☆有災害時に備えた災害時マニュアルの点検・見直しと備品の点検・補充・管理を徹底し、応急救護訓練を全職員に実施し、利用者の生命維持管理体制の充実を図ります。

☆施設内感染症の発生・まん延予防と感染対策力の向上を図ります。

(3) 事故防止対策・身体拘束廃止・虐待防止対策・見守り機器活用・利用者の安全並びに介護サービスの質の確保及び職員の負担軽減に関する方策について

上記の各種対策、方策については委員会を中心として防止対策の検討及びリスクマネジメント研修・ノーリフティングケアの導入による職員の意識向上と環境整備を行います。

(4) 利用者・家族への心のこもったサービスの提供

笑顔、挨拶を基本に、利用者にとって「何が必要か」を考え、残存機能を生かし、自立支援の理念のもとにサービスを提供します。入所系サービスと在宅系サービスの連携により、御利用される利用者の自己実現を支援します。サービスの自己評価及び満足度調査による業務の見直しを実施します。

(5) 介護・生活支援サービスの向上のため、それぞれの領域における専門職を中心として、個別ケア、認知症ケア、利用者の重度化対策、医療・看護サービスの充実を図ります。
また、終末期支援のニーズの増大に伴ない「手厚い看取り介護の体制構築・強化に向けた基盤強化の推進を図ります。

(6) 専門職としての職員教育の体制整備

* OJT（On The Job Training）＝職務を通じての研修を効果的に実践します。

* キャリアパス（法人内での昇進・異動を可能とする資格取得、職業・技能上の経歴）に基づき、職員の一人一人に必要な知識・技術が獲得できるような施設内外の研修に参加する機会を提供し、高齢者介護の専門職としての倫理観・資質の向上に努めるとともに、職員のモチベーションを低下させないよう、部署ごとにメンタル面のフォローを含め、適時面談を実施します。

また、将来の福祉介護職員（高校生・外国人介護労働者含む）を育成する場としての福祉介護教育実習や体験学習やボランティア等を積極的に受け入れます。

* 中重度の要介護者や認知症高齢者への適切なケアと必要な医療的ケアをより安全に提供するための「たん吸引等」を行うことができる介護職員等を計画的に養成する。

(7) ホームページの充実

☆社会福祉法人の公共性を踏まえ、ホームページにおいて財務諸表等・各施設の運営規程等の情報開示を積極的に進めます。

☆インターネットの普及に伴い、就活サイトや法人ホームページ、有効な検索サイトを利用し、医療や介護などの生活に必要な情報を収集するシニア層が増加していますので、社会福祉法人や各施設の取り組みを積極的に発信し、利用者獲得、職員採用などに活用します。

☆施設単位でバラバラであったパンフレットを法人の「総合パンフレット」として刷新します。